

誰ひとり排除しない 「まぜこぜの社会」 をワクワクでめざす！

教育が直面する重要な現代的課題の一つに、DEI（Diversity：多様性、Equity：公平性、Inclusion：包括性）の実現があります。他方、DEI実現の取り組みが、図らずもマジョリティによるマジョリティのための取り組みに終わってしまうことも少なくありません。

本FD・SD講演会では、誰ひとり排除しない「まぜこぜの社会」の実現を、アートや音楽・映像・舞台などのエンターテインメントを活用しながら目指して活動されている東ちづる氏を講師にお迎えし、共生の理念の重要性やそこに潜む「もやもや」について、さらには共生社会の実現に向けて教育大学に何が期待されるのかについてお話しいたします。

ご活動の映像をふんだんに織り交ぜながら、洒脱で示唆に富むトークが展開される予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時： 令和8年 **11月25日（水）**

教授会終了後（15：30頃から開始予定）～1時間

場所：愛知教育大学 本部棟3階 第一会議室

対象：本学教職員・学生

参加方法：対面参加のみ（後日、オンデマンドで配信予定）

参加申込：事前申込制

申込締切 11月11日（水）

<https://forms.cloud.microsoft/r/v98HUtJ4hJ>



主催：教育研究創成センターFD開発部門

目標：共生社会の理念と課題についての理解を踏まえ、
今後求められる教員養成／教育支援専門職養成、
大学組織のあり方について説明できる。

レベル：ミクロレベル・ミドルレベル

段階：Ⅰ導入・Ⅱ基本

FD・SDに対する評価方法：事後アンケート



講師 **東ちづる 氏**

一般社団法人Get in touch理事長・俳優

講師略歴

広島県出身。会社員生活を経て芸能界に入る。俳優やタレントとしての活動のほか、司会、コメンテーター、講演、出版、平和や社会問題についての発信など、幅広い分野で活躍。骨髓バンクの支援やドイツ国際平和村の活動、多様な人の相互理解と共生に向けた活動を30年以上継続。2012年、アート、音楽、映像、舞台などを通じて、誰も排除しない「まぜこぜの社会」の実現を目指す一般社団法人Get in touchを設立。2017年、車椅子のダンサー、自閉症のダンサー、全盲のシンガーソングライター、小人症の手品師など多様な特性をもつパフォーマーからなる「まぜこぜ一座」を結成。以降、唯一無二のエンターテインメント「月夜のからくりハウス」を本年まで毎年開催。今後は海外進出を視野に活動を展開している。

東京2020オリパラでは、世界配信の公式映像「MAZEKOZE 아일랜드ツアー」の企画・構成・キャスティング・演出・衣装デザイン・総指揮を担当。

著書に、現代風にアレンジしたメジャーな妖怪からオリジナル妖怪まで61体を自ら描き、社会風刺も交えながら解説した「妖怪魔混大百科」等多数。自身が企画・構成・プロデュース・出演する映画「まぜこぜ一座殺人事件～まつりのあとのあとのまつり」がAmazonプライム他で配信中。